

予 算 大 綱 質 疑 順 序

- 1 正風改革クラブ 宮 崎 雅 薫 君
井 戸 清 司 君
浜 田 修 一 郎 君
(2月28日(金) 10時～13時50分)

- 2 民主党・刷新の会 浅 田 良 弘 君
鈴 木 克 政 君
(2月28日(金) 14時～15時)

- 3 輝 2 1 三 枝 誠 次 君
稲 葉 富 士 憲 君
(3月3日(月) 10時～11時)

- 4 公 明 党 楠 田 一 男 君
(3月3日(月) 11時10分～12時10分)

- 5 伊東元気の会 杉 本 一 彦 君
(3月3日(月) 13時10分～13時55分)

- 6 重 岡 秀 子 君
(3月3日(月) 14時05分～14時30分)

- 7 森 篤 君
(3月3日(月) 14時30分～14時55分)

※ 質疑時間は、進行状況によって変更することがあります。

予 算 大 綱 質 疑 要 旨

正風改革クラブ 宮 崎 雅 薫

井 戸 清 司

浜 田 修 一 郎

1 施政方針と行財政改革について、以下伺う。

- (1) 歳入の根幹である、個人・法人市民税や固定資産税、入湯税及びたばこ税などの予算の編成に当たり、市内経済状況をどのように把握し、積算したか。
- (2) 消費税の税率が8%になることから地方消費税交付金が増収見込みであるが、その金額と今後の行政運営への影響及び市内経済の影響をどのように考えているか。
- (3) 市税の公平負担や歳入の確保の観点から、市税滞納繰越分の徴収方法や徴収体制はどのようにしていくのか。
- (4) 環境美化センター焼却炉の更新改良整備、新保健福祉施設や学校給食センター建設などの大型事業により、平成26年度以降の市債の借入額及びその償還見込み、並びに公債費比率の見込みについて
- (5) 給与費における各種職員手当の見直しの状況及び平成26年度以降の退職者数と退職手当の見込みについて
- (6) 職員の定員管理計画の進捗状況と一般事務における臨時職員の雇用状況及び業務の内容について
- (7) 職種、職責による定期昇給の抑制や昇給停止年齢の導入及び定年退職年齢の引き上げなどの新しい給与制度の導入について

2 「場の力が創造する魅力・活力のあるまち」に係る事業等について、以下伺う。

- (1) 誘客宣伝事業及び観光振興諸事業の内容やその効果について
- (2) 観光施設の整備事業について
- (3) 中小小売業振興策としての新年度の目玉事業及び活性化策について
- (4) 農業、漁業の担い手の育成をどのように図っていくかについて
- (5) 競輪事業特別会計における、共同通信社杯開催に係る広報や宣伝体制について

3 「やさしさと笑顔にあふれる健康なまち」に係る事業等について、以下伺う。

- (1) 生活保護について
 - ア 生活保護受給者及び世帯の推移と平成26年度以降の見込みについて
 - イ 受給者に対する就労支援の状況やその体制、成果について
- (2) 保育園の管理運営について
 - ア 保育園の民営化計画はいかがか。
 - イ 民営化された保育園の運営状況はいかがか。
 - ウ その運営経費の推移や市の負担額の推移はいかがか。
 - エ 保育園の待機児童の状況はいかがか。

(3) 臨時福祉給付金給付事業及び子育て世帯臨時特例給付金給付事業に係る給付対象者と給付の時期について

(4) 子ども・子育て支援事業計画策定業務委託料に係る委託の相手方及び委託の内容について

(5) 新保健福祉施設測量調査等委託料に係る施設の建設場所及び今後のスケジュールについて

(6) 国民健康保険事業特別会計について、以下何う。

ア 一般被保険者療養給付費等が増加している中、同会計の運営状況や一般会計からの繰入金の状況はいかがか、また、これら費用を抑制するような施策について

イ 社会保障改革に関し、「プログラム法」の成立に伴い、今後の国民健康保険制度はどのようになっていくか、また、本市の国保制度の今後の見通しについて

(7) 介護保険事業特別会計について、24時間対応型のサービスに係る検証の状況はいかがか、また、居宅療養管理指導、介護予防訪問看護及び介護予防訪問リハの利用状況について

4 「安全・安心で快適なまち」に係る事業等について、以下何う。

(1) ごみ処理関係経費について

ア 環境美化センター焼却炉更新改良工事の進捗状況について

イ ごみ収集業務に係る民営化の進捗状況について

ウ ペットボトルのごみステーションでの分別収集に向けた準備状況及びごみの減量化の状況について

エ 消費税引き上げに伴う指定ごみ袋の販売価格について

オ 新車庫の造成工事請負費に関し、今後のスケジュール及び県道沿いに新車庫の建設が予定されていることを踏まえた交通安全対策について

(2) 本市消防体制について

ア 駿東伊豆地区消防救急広域化事業の進捗状況について

イ 消防救急デジタル無線整備事業の進捗状況について

(3) 伊東市民病院について、地域災害拠点病院としての指定を受けるに当たり、資機材の整備をどのように行うか。

(4) 地震対策事業における案内看板の整備や避難路の整備について

(5) 公共施設危険箇所対策事業の内容について

(6) 橋りょう長寿命化事業に係る工事箇所について

(7) 都市計画道路伊東大仁線改良事業の内容について

(8) 下水道事業特別会計に関し、公共下水道維持管理費に係る増額理由及び下水道債の償還計画並びに公債費の内容について

5 「心豊かな人を育み、生涯にわたって学習できるまち」に係る事業等について、以下伺う。

(1) 西小学校屋内運動場の改築について

(2) 市内小・中学校の整備に関し、トイレのドライ化や椅子型の洋式化について

(3) 中学校給食の完全実施及び学校給食センターの建設計画について

(4) 学校規模の適正化や統廃合の方向性について

予 算 大 綱 質 疑 要 旨

民主党・刷新の会 浅田良弘

鈴木克政

平成26年度一般会計予算案から以下伺う。

1 「ごみの減量化や再資源化を図るため、平成27年度からのペットボトルのごみステーションでの分別収集に向け、一部の地域をモデル地区として収集を開始する」とあるが、その計画及びモデル地区選定の方法について伺う。

2 観光施策について、以下伺う。

(1) 平成26年度はANJINサミットが本市で開催されることになり、按針を改めて顕彰する機運が高まっている中、さらなる按針のPRや市民への周知を図る必要があると思うが、いかがか。

(2) ジオパーク推進事業では、「世界ジオパーク認定に向け、市内ジオサイトの整備や周知宣伝に要する経費」が計上されているが、認定の見込みについて伺う。

あわせて、整備の進捗や周知宣伝の方法について伺う。

(3) 2013年、訪日外国人旅行者数が初めて1,000万人を突破したが、本市を訪れる外国人旅行者数の推移とインバウンド関連事業の成果及び今後の方針を伺う。

(4) 高額な賞金を伴うイベントの参加者募集に当たり、暴力団関係者の参加及び関与は認めないとする旨明記されているが、イメージダウンにつながるおそれはないか。

3 危険箇所緊急対策工事請負費及び災害対策に係る事業に関連し、以下伺う。

(1) 先般の2度にわたる大雪は市民の足に大きな影響を与え、幹線道路やバス路線を優先して除雪作業が行われたようであるが、支線における除雪作業について伺う。

(2) 除雪等により通行が可能となったにもかかわらず、メールマガジン等による情報発信では「通行止め」や「チェーンが必要」のままになっていたと思われるが、より正確な情報発信により、市内経済へ与える影響を減少させることができると考えるが、いかがか。

4 同報無線デジタル化整備事業について、以下伺う。

(1) 整備には数億円程度かかると試算されているようであるが、今後の整備計画について伺う。

(2) 整備に伴い、難聴地域対策もあわせて検討するとしているが、聞き取りにくさの改善やJ-A L E R Tの受信等デジタル化のメリットを伺う。

5 「子ども・子育て関連3法」に基づき、平成27年度から子ども・子育て支援新制度に移行されるが、本市の子ども・子育て支援事業計画（5年計画）の策定に向け、施行までのスケジュール及び対象世帯へのニーズ調査について伺う。

予 算 大 綱 質 疑 要 旨

輝 2 1 三 枝 誠 次

稲 葉 富士憲

1 「市民活動支援事業」について、以下伺う。

(1) 「NPO法人等の市民活動ネットワークを構築し、包括的支援を行う」とあるが、現在の本市の市民活動にどのような問題点を見出し、どのように解決を図っていくか。

(2) 補助を受ける市民活動組織について、運営の公正さをどのように確保するか。

2 「被生活保護者学習支援事業」について、以下伺う。

(1) どのような学習支援を行うか。

(2) 学習支援が必要な対象者全員に、支援を行うことができるか。

3 「スポーツ誘客推進事業」について、以下伺う。

(1) どのようなプロスポーツ観戦やスポーツイベントを計画しているか。

(2) この事業を発展させるためにはスポーツ施設の拡充が不可欠と思われるが、この拡充について、どのように考えているか。

4 「起業支援及び空き店舗対策補助事業」について、以下伺う。

(1) それぞれどのような方法で対象者を選定するか。

(2) 選定した対象者を育成する体制はどのようなものか。

(3) 過去に行った空き店舗対策事業の経験は、どのように生かされているか。

5 「緊急雇用対策事業」及び「緊急経済雇用対策事業」について、以下伺う。

(1) 市内の雇用情勢及び経済状況に鑑みれば、当初予算をゼロとせず、予算づけすべき
と考えるが、いかがか。

(2) 「再就職講座事業」を拡充し、新たな雇用対策事業を行うべきと考えるが、い
かがか。

6 「市民体育センター指定管理委託事業」について、利用料金の増額にあわせ、日曜
日の午前8時から開館するなど、利用者の利便性に配慮した運営をすべきと考えるが、
いかがか。

予算大綱質疑要旨

公明党 楠田一男

平成26年度一般会計予算案を踏まえ、以下伺う。

1 行財政改革の取り組みについて

- (1) 現在の行財政運営の状況から、今後の行財政運営はどうあるべきと考えるか。
- (2) 官民の役割分担と資源の配分を適切に実行する行財政運営についてどう考えるか。
- (3) 医療、介護等に要する社会保障関係費の増加が予想されるが、平成26年度における財政上の対策はいかがか。
- (4) 業務改善を継続的に推進する体制の構築についてどう考えるか。

2 危機管理の取り組みについて

- (1) 国土強靱化基本法において、地方公共団体の状況に応じた施策を総合的かつ計画的に策定し、実施する責務を有すると規定されているが、本市の取り組みはいかがか。
- (2) 各行政区において、自然災害に対応すべく、早急に総点検を実施すべきではないか。
- (3) 老朽化した橋梁や道路等の再構築計画はいかがか。

(4) 自主防災会の中に「防災見守り隊」を組織することも必要であると思うが、いかがか。

(5) 要援護者支援体制に関し、女性の積極的な参画を図ってはいかがか。

また、防災士、とりわけ女性防災士の育成と導入についてどう考え、予算に反映しているか。

3 子育て支援の取り組みについて

(1) いじめ対策や不登校対策などをどう予算に反映したか。

(2) 「児童虐待防止対策緊急強化基金」の創設と児童福祉司の増員などによる子育て支援体制の強化はいかがか。

(3) 県と共同し、子育て家庭に対し市内の企業・商店等が特典や割引などのサービスを提供する「クーポン事業」の実施状況はいかがか。

4 保健・医療・介護の充実に係る各種施策について

(1) 特定健康診査の受診率が低迷している状況から、第2期伊東市特定健康診査等実施計画の取り組みをどのように考えているか。

(2) 健康増進の観点から、「健康マイレージ」の導入を提案するが、いかがか。

(3) 通院が困難な鬱病患者等への訪問支援（アウトリーチ）や認知行動療法を伊東市民病院などの身近で受けられる体制の整備、及び、精神科医など専門職の育成をどう考えるか。

(4) 単身の高齢者が安心して生活できる「支え合いの地域づくり」と、介護施設等への入所待機者の解消策はいかがか。

5 観光及び経済対策について

(1) スポーツとツーリズムの融合で観光の活性化を図る必要性についてどう考えているか。

(2) スポーツツーリズムを観光・健康・産業などと幅広く連動させることで、より高い効果を得られると思われるが、どう考えているか。

(3) 2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会に向け、外国人観光客を誘客するための具体策について検討しているか。

(4) 本市が有するジオパークや多様な伝統文化、芸術などの有形・無形の文化財を成長分野として位置づけ、予算と人材を投入し振興することで、市内経済の活性化が図れると期待するが、どう考えているか。

予 算 大 綱 質 疑 要 旨

伊東元気の会 杉 本 一 彦

平成26年度予算編成を踏まえ、官民協働による自治体運営に向け、以下伺う。

- 1 予算編成に当たり、市長は、「未来協知」の実践、また、市民参画のまちづくりを推進するため、協働の場づくりの取り組みを進めるとのことだが、「未来協知」と「官民協働」との違いについて伺う。
- 2 市政運営において協働は不可欠であり、協働による体制が構築されれば、効率的な市政運営が執行されるものと考えているが、協働について市長の考えを伺うとともに、協働による市政運営に係る将来的な構想はあるか伺う。
- 3 協働による市政運営を実現するには、市民活動を活発化させ、さらなる市民力の向上を図ることが重要であると考えているが、市民力向上の観点から、どのような協働の取り組みを考えられたか伺う。
- 4 協働によるまちづくりの観点から、行政と地域、市民活動グループ等との連携は不可欠であると考えているが、どのように連携を図っていこうと考えているか伺う。

5 年々、民生委員等の確保も難しくなっていることなどを踏まえ、協働の体制を充実させていくことは急務であると考えているが、社会福祉の観点から、どのような協働の取り組みが必要であると考えているか伺う。

6 子育て環境の充実の観点から、行政と地域、市民活動グループ等との連携が重要であると考えているが、どのような協働の取り組みが必要であると考えているか伺う。

7 学校教育において、行政と地域、市民活動グループ等との連携が重要であると考えているが、どのような協働の取り組みが必要であると考えているか伺う。

予 算 大 綱 質 疑 要 旨

重 岡 秀 子

1 市民の約4割が加入している国民健康保険について、経済的負担を感じている市民も多いと思われることから、国保税に関し以下2点伺う。

(1) 納付が困難な方の中には、滞納期間によっては資格証明書の交付により一時的に医療費の全額を支払わざるを得ない方や、財産の差し押さえをされている方もいる実態があるが、その現状について伺う。

(2) このような状況を未然に防ぐため、納税相談や減免制度などの対策について伺う。

2 平成26年度における以下の新規事業に関し、その事業目的及び事業実施に至った経緯について伺う。

(1) ひとり親家庭子育てサポート事業について

(2) 被生活保護者学習支援事業について

3 荻の新車庫建設工事について、土地造成をどのように行っていく予定であるか。
また、今後の新車庫建設計画について伺う。

予 算 大 綱 質 疑 要 旨

森 篤

1 平成26年度市長経営方針である『未来協知』の実践』について、予算編成上の観点から以下伺います。

(1) 平成26年度予算の編成の基本方針の中に、『未来協知』の実践』に基づいた各種施策の展開を念頭に置きつつ予算編成に当たることとの記載があるところですが、予算編成作業に当たっては、どのように市民の皆さんと行政が協働し、知恵を出し合ったのですか。

(2) 平成26年度予算の編成の基本方針の中に、『未来協知』の実践』に沿って構築された「新規」事業については、別枠で要求すること、その要求については特段の配慮をする予定であるとの記載があるところですが、予算書上では、この「新規」事業はどれを指しますか。

(3) 「未来協知」の説明において、市民幸福度向上のために云々との記載がありますが、市長の考える市民幸福度とはどういうものですか。また、市民幸福度はどのようにして計測しようと考えていますか。

2 政策的事業について、少なくとも事業の目的及び期待する成果、効果はどのようなものであるかを市民の皆さんの前に明示しておかなくては、市民と行政が協働し、知恵を出し合っまちづくりをすることはできないと考えます。

そこで、平成26年度予算に係る次の新規事業について、その目的及び期待する成果、効果はどこに明示されているか伺います。

(1) 未来づくり研修事業

(2) 市民活動支援事業

(3) 市民提案アイデア実践事業